

# 軌道事故に対する迅速な救助、安全管理を確認



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には、富山県と立山カルデラ砂防博物館が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」など工事関係者以外の方々が年間約2千人乗車しています。こうした方々がトロッコ乗車中での事故発生時に迅速な対応を図れるよう事故対応訓練を毎年実施しており、本年の訓練は平成21年から13回目の訓練となります。

訓練は、過去の軌道上の事故事例や安全管理の取り組み、事故発生時の対応等、安全管理上の知識習得を目的とした講義及びレスキューカート等による救助実技を中心に実施し、関係機関及び軌道関係受注者など30名が参加しました。

昨年度は、新型コロナウイルスの蔓延により、砂防体験学習会におけるトロッコの利用を見送っておりましたが、本年度は、乗車定員を減すなど、十分な感染症対策を実施し、2年ぶりにトロッコの利用を再開します。

今回の訓練により、参加者は安全管理に対する意識を高め、7月から始まる体験学習会において、事故発生時に求められる救助対応を学びました。

## 実技訓練の様子

日時：令和3年6月24日(木) 13:30~16:00

場所：(講義) 事務所2F会議室

(実技) 軌道5.24Kp(桑谷SB2) 付近

参加機関：立山砂防事務所 (公財)立山カルデラ砂防博物館  
軌道運行受注者 関係機関



①人車から怪我人搬出



②レスキューシート⇒担架



③担架搬送



④担架⇒レスキューカート



⑤レスキューカート搬送



⑥レスキューカート⇒モーターカー

過去事例やマニュアルから、事故対応や安全管理を学ぶ!



講義の様子

車両に落石が直撃し負傷者が発生したと想定



落石発生!

被災想定